

めぐみイエス・キリスト教会

2023年4月16日(日)第三主日礼拝

午前10時より

週報「通算第653号」



2023年標題聖句

第 I ヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌392「主の愛の汝がうちに」p. 631

【交読文】 No.29 詩篇第95篇 p. 903

【賛美Ⅱ】 新聖歌127「墓の中に」 p. 178

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「復活の日の朝」

【聖書朗読】 使徒の働き24章10節～21節
(新約p. 286上段右側)

【礼拝説教】 《総督フェリクスへのパウロの弁明》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1「弁護士テルティロの訴え」とは？

※使徒の働き24章5節～8節「三つの訴え」 (新約p.285下段)

24:5 「実は、この男はまるで疫病のような人間で、世界中のユダヤ人の間に騒ぎを起こしている者であり、ナザレ人の一派の首謀者であります。

24:6 この男は宮さえも汚そうとしましたので、私たちは彼を捕らえました。(24:7 本文欠如)

24:8 閣下ご自身で彼をお調べくだされば、私たちが彼を訴えております事柄のすべてについて、よくお分かりいただけます。」

●ポイント2「アジアから来たユダヤ人」とは？

※使徒の働き19章8節～10節「首都エペソにて」 (新約p.273下段)

19:8 パウロは会堂に入って、三か月の間大胆に語り、神の国について論じて、人々を説得しようと努めた。

19:9 しかし、ある者たちが心を頑なにしてお聞き入れず、会衆の前でこの道のことを悪く言ったので、パウロは彼らから離れ、弟子たちも退かせて、毎日ティラノの講堂で論じた。

19:10 これが二年続いたので、アジアに住む人々はみな、ユダヤ人もギリシア人も主の言葉を聞いた。

※使徒の働き21章29節「エルサレム神殿において」(新約p.280上段)

21:29 彼らは、エペソ人のトロフィモが町でパウロと一緒にいるのを以前に見かけていて、パウロが彼を宮に連れ込んだと思ったのである。

●ポイント3「死者の復活」とは？

※ダニエル書12章2節～3節「ガブリエルの預言」 (旧約p.1532上段)

12:2 「ちりの大地の中に眠っている者のうち、多くの者が目を覚ます。ある者は永遠のいのちに、ある者は恥辱と、永遠の嫌悪に。

12:3 賢明な者たちは大空の輝きのように輝き、多くの者を義に導いた者は、世々限りなく、星のようになる。」

※第 I コリント15章12節～13節「パウロの教え」 (新約p.350上段)

15:12 ところで、キリストは死者の中からよみがえられたと宣べ伝えられているのに、どうして、あなたがたの中に、死者の復活はないと言う人たちがいるのですか。

15:13 もし死者の復活がないとしたら、キリストもよみがえらなかつたでしょう。

◎先週の礼拝メッセージ【週の初めの日の早朝】

《アリマタヤのヨセフとニコデモは、主イエスを、まだ誰も葬られていない「園の墓」に埋葬します。成り行きを見ていた大勢の女性たちのリーダーであった、マグダラのマリアとヤコブとヨセフの母マリアは、墓までついて行きます。その時、ペテロとヨハネも同行します。彼らは、墓の入り口が閉じられるまで、しっかりとその場所を確認しました。

さて、安息日が終わり、一斉に店が開きます。そこで彼女らは、香料を買い求め、夜が明けると、サロメを連れて墓に向かったのです。「だれが墓の入り口から石を転がしてくれるでしょうか。」

ところが目を上げると、その石が転がしてあるのが見えたのです。伝承では、この丸い石の蓋は、200キロくらいあって、大の男が7人以上で動かしたと伝えられています。また、まだ誰も葬られたことのない新しい墓を神様が用意されたのは、主イエスの復活の場面に相応しいだけでなく、香料を塗りに来た女たち、そしてその後、駆けつけて来るシモン・ペテロとヨハネの為でもあったのです。彼女たちが墓の中に入ると、真っ白な衣をまとった青年が座っていました。

「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。」ここで、女たちは二手に分かれます。マグダラのマリアは、ペテロに伝えに行き、他の女たちは、ベタニアに向かいます。主イエスは、まずマグダラのマリアによみがえられた姿を現わし、次には女たちにも現われます。「おはよう。恐れることはありません。行って、私の兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこで私に会えます。」

主イエスは、よみがえられました。使徒パウロは、明確にそのことを証してします。そして、それこそが福音であると語っています。》

◎お知らせ

※次回第四主日礼拝は、4月23日(日)午前10時からです。